

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 103
2023.June

完成現場報告 静岡市 / 『TUBOMIの家』

素材と空間、光と風、
心地良さを求めた家づくり。



進入路から見た外観。1階の塗り壁と2階の黒壁が特徴で、植栽の緑やタイルの腰壁などが華やかさを添えている。黒壁は杉赤身板に柿渋を塗り、その上から柿渋コートG(黒と古代色のブレンド)を塗布している。



玄関ポーチの屋根をアプローチのスロープまで伸ばした。車からの乗り降りや、来客時などにとっても役立っている。柱はステンレスの焼き付け塗装品。存在感を少なくし、屋根を軽やかに見せてくれる。

います。見学会で会うたびに趣味や家のお話と合わせて土地探しの話が出ましたが、静岡市の街中で良い物件を探すのがなかなか難しい。土地の広さや日当たり、接道や土地の価格、隣家の様子など難題がたくさんありました。駅北、駅南などエリアを決めずに様々な土地を探しましたが、ピンと来る土地がなく、Mさんは長年悩んでいました。Mさんの土地探しのお手伝いをしている中で、当社も静岡市に新しい展示場をつくりたいという長年の夢が、だんだんと重なつていきました。せっかくならお隣同士の土地があればと探していましたが難しく、Mさんと共にじっくりと土地を探していきました。良縁と言うのは突然やってくるもので、ハウスメーカーの条件付きで諦めていた土地が、条件を外しても良いという情報が入りました。不動産屋さんを通じて話を進め、Mさんと当社の土地をお隣同士で購入することが出来ました。街中にはありますが開放感があり、日当たりも十分確保出来る土地で、お互い気持ち良く購入することが出来ました。土地が決まり早速Mさんの住まいのプランを考えていきました。建物は30坪弱と小さめの計画となりましたが、コンパクトな敷地に2台分の駐車場とお庭スペースを確保し、吹き抜けや大きな窓で開放的な暮らしを、適材適所の収納や家事動線で生活しやすい住まいを提案しました。

吹き抜けのあるダイニング。室内は、障子や中庭から伝わる心地よい明るさで満たされている。丸テーブルやダイニングチェア、ペンダントライトやTV下のキャビネットなど、クラフトコンサートさんで選んだアイテムは、この空間に溶け込んでいる。

素材と空間、光と風、心地良さを求めた家づくり。

完成現場報告

静岡市『TUBOMIの家』

文・写真／コロラボ 山崎健治



2021年7月、kokolab village(コロラボレッジ)第1号となるMさんの住まいが完成しました。kokolab villageは3棟の木の家でつくる小さな分譲地。街中の住まいでも心地よく快適に暮らす工夫を凝らし、コンパクトな空間の中に、植栽スペースを取り入れたゆとりのある計画をしました。2020年の春から造成をスタートし、今年の春に3棟全ての建物とお庭工事が完成しました。今回完成したkokolab villageについてもいろいろと紹介したいと思いますが、そのお話はまた次の機会とし、今回は『TUBOMIの家』と題してMさんのお宅についてご紹介したいと思います。

Mさんのお付き合いは長く、数年前から当社の見学会に何度か参加いただきました。様々なお宅を見ていただく中で、コロラボのつくる家について知っていたとき、段々と自分たちの住まいのイメージと重ねながら、夢を膨らましていかれたと思います。



畳コーナーをダイニング側から見る。和室との段差を20cmとし、引き出しはつくらず、上り下りに無理のない高さを設けた。畳コーナーを小上がりにする事で、ダイニングチェアに座った人との視線高さが合い、会話に違和感をつくらないようにしている。



コーナー障子を閉めた和室。障子から漏れる優しい光が心地よく、子供のお昼寝などには最適の空間。欄間ガラスからの光もほどよく、つながりと安心感を感じる和室になった。



畳コーナーから対角線に室内を眺める。垂れ壁をガラスにしたり、コーナーに障子を設け、開けたり閉じたりする日本の暮らし方からヒントを得ている。



コーナーソファを造り付けた石土間の空間。石は諏訪鉄平石の方形に大磯砂利の洗い出しの目地で仕上げた。ソファは石土間に合わせてグレーをチョイスし、木と漆喰の空間に、シックで落ち着いた空間となった。

素材がつくる 心地よい住空間

当社も今年で19年目を迎えます。今まで培ってきた経験と、木造建築に対する知識をより発展していきたいと考え、Mさんの家づくりを通して、木の家と素材の新しい組合せを提案したいと考えました。一般的に木の家のイメージは、主に杉や桧などの針葉樹を使用した、木の優しさを感じるカジユアルな雰囲気だと思えますが、木材は針葉樹だけでなく、広葉樹の特徴を活かした質感や色艶も表現していきたいと思っています。広葉樹は針葉樹に比べて硬く、木目もはっきりとしているものが多く、また経年変化を通して色艶を増し、味わい深くなる素材です。コロラボでは、床にクリやヤマザクラを使い、カウンターなどにタモ、玄関扉にナラを使っています。その他、オニグルミやカバ、ニレやセンといった広葉樹のカウンターや式台を使うことも多く、使用する場所に合わせた提案をしています。広葉樹の提案の他、Mさんのお宅では、石や鉄、和紙や土などといった自然素材を木の空間と組み合わせ、素材の利点を活かした内部空間をつくりたいと考えました。使用する場所での利点欠点もあり、適材適所に合わせた選択が大切だと思いますが、何もかも木でつくるのではなく、力の掛かる階段などには鉄を使い軽やかな表現を、耐

久性や蓄熱性、空間の変化を考えて石張りの床などを提案しました。その他、窓のスクリーンに障子を使い、和室の壁には、古来から日本の家に使われている土壁を採用しました。それぞれの空間や場所で素材が活かされ、独特の表情を見せてくれます。

Mさんのお宅は、1階に大きく3つの空間をつくりました。建物の中心には吹き抜けを設けたダイニングコーナー、中庭側に張り出した空間に石土間にソファを造りつけたリラククスコーナー、建物北側の落ち着く空間に畳コーナーを設けました。それぞれに明るさや開放感などが違い、それぞれの用途や目的から床や壁の素材を変えてつくりました。特に諏訪鉄平石と大磯洗い出しのコンビ仕上げをした床仕上げは今回初めての試みで、石屋と左官屋による協働の仕事となりました。コンビとすることで石材の硬さが和らぎ、また、足触りも凹凸が感じられる優しい仕上がりとなりました。石の床は冬の冷たさが気になると思いますが、床下に温水の床暖房を入れ、石の蓄熱性能を利用した心地よい床になりました。畳コーナーはダイニングから20cm上げた小上がり空間とし、障子で仕切れる部屋としました。子供のお昼寝、来客時の寝室など、多目的に利用できるスペースとなり、変化に対応できる便利な空間となりました。



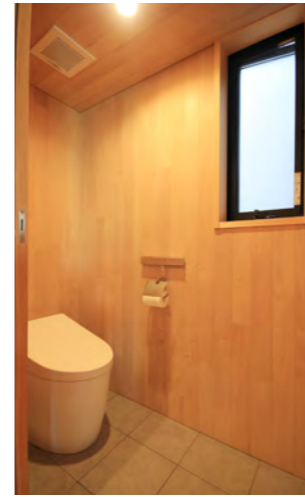
玄関……諏訪鉄平石の乱張り仕上げの玄関土間。自然味のある形が特徴で、石屋の腕が試される。明かり取りのガラスや一枚板の式台など、コンパクトながら工夫の詰まった玄関となった。



浴室……青森ヒバの香りに包まれ、1日の疲れを癒す空間となっている。タイルは様々な色や柄があるが、Mさんはグレーをチョイス。優しい雰囲気になった。



洗面脱衣室……カウンターをオーダーで注文し、扉や鏡、収納などをオリジナルで製作。住まい手の希望を反映でき、高さや使い勝手を考えて製作している。



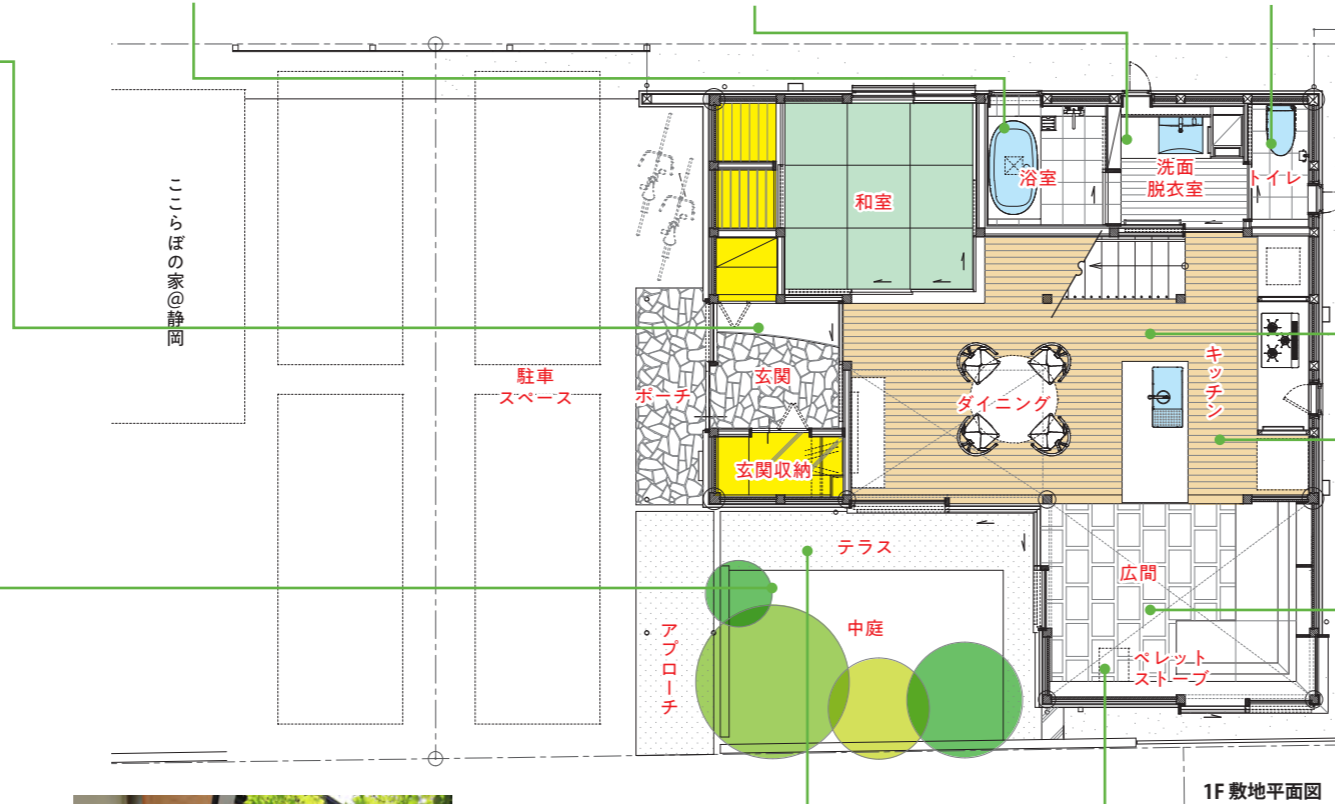
1階トイレ……浴室の仕上げと合わせて壁と天井を青森ヒバで仕上げたトイレ。木の香りと優しさに包まれ、落ち着く空間となった。



上) アイアン階段……階段内部から見ると段板が浮いている様子にも見え、木とアイアンの特性を活かした階段が出来た。アイアンバーは落下防止の柵にもなり、小さな子供も安心して上り下り出来る。



右) キッチンと階段……キッチン横に設けた階段スペース。閉塞感を感じないようにアイアンバーを使って軽やかな階段をつかった。各所の納まりなど難しい所もあったが、プラトーさんと大工のチームプレーで上手くいった。



中庭は、大谷石と大磯砂利の洗い出しのテラスをつくり、夏場のプールスペースとしている。植栽は、アオダモを中心に、ヒメシヤラ、ヤマモミジなどの自然味のある雑木で構成した。



中庭……アプローチから中庭を見る。床高さと中庭の高さを近づけ、部屋からのスムーズな出入りと、室内と庭との一体感を考えた。



ペレットストーブ……石土間に設置したペレットストーブ。小型ながら能力が高く、部屋全体を暖めてくれる。炎を見ると心が癒され、ほっと和む雰囲気が心地よい。



石土間……石土間の部屋から対角線を見る。窓を開けると外部空間も一体となり、より広さを感じられる。石土間は床板より17cm程下げた高さとし、少し落ち着いた空間を意識した。



キッチン……オリジナルで製作しているキッチン。好みのタイルデザインを取り入れ、吊戸棚や棚板、格子窓を配置して雰囲気をくわっている。冷蔵庫上のエアコンスペースも定番の納まり、家電同士の配置で見た目にも納まりが良い。



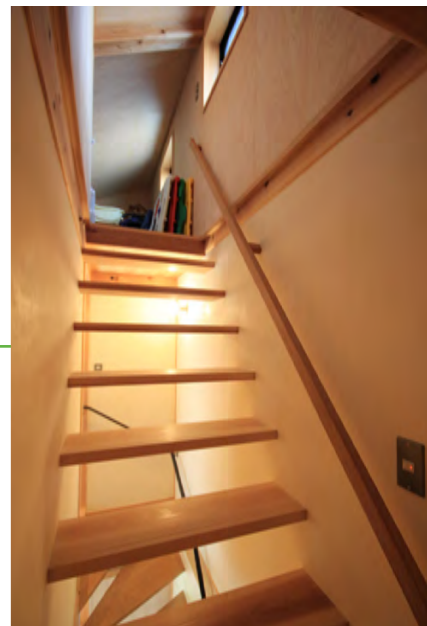
サンルーム……2階の一角にバルコとサンルームを設けた。サンルームには洗濯機と洗濯流しを配置し、機能的なスペースとした。吹き抜けとの境に縦格子を設け、風を通しながら目隠し機能もある壁とした。



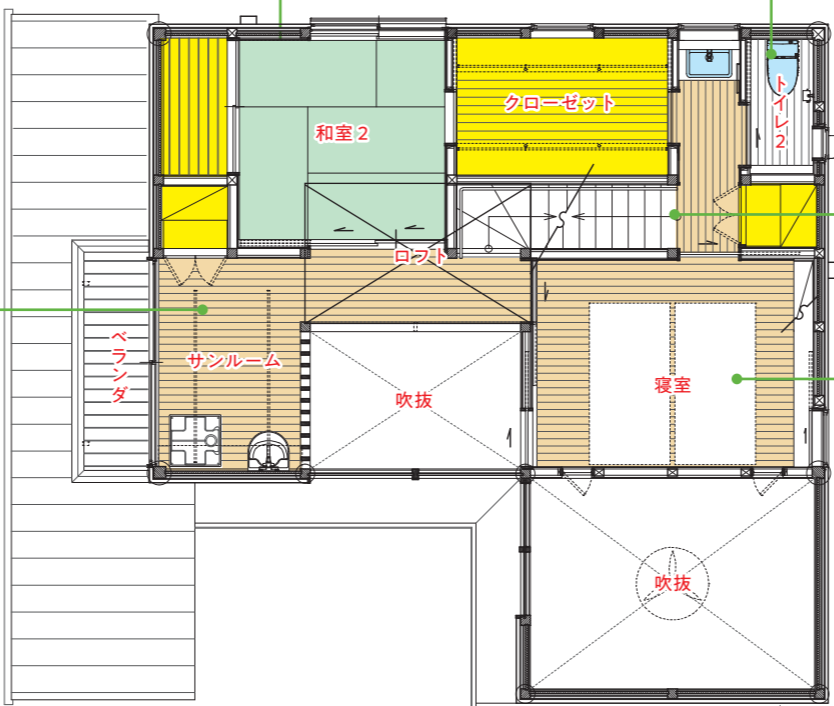
サンルームと和室……サンルームから取り込んだ洗濯物を和室でたたみ、そのままクローゼットに収納出来る動線をつくった。2階は機能的な間取りとし、スムーズな生活出来る配置を心掛けた。



2階トイレ……2階のトイレは青森ヒバの床板と漆喰の壁で仕上げた。2階にトイレをつくるかどうかの基準は、2階に寝室があるか？を基準に検討している。



ロフトへの階段……1階から2階への階段位置に合わせて、2階からロフトへ上がる階段を設けた。しっかりとした階段があることで、安心してロフトに大きな荷物を運び入れる事が出来る。



2F 平面図



寝室……寝室は、土壁と障子を使った仕上げを提案した。土壁は表面に凹凸があり、音を吸収して落ち着いた空間をつくる事が出来る。天井は塗装屋さんが仕上げたマットなEP塗り。

仕様内容

| | |
|-------|---|
| 家族構成 | 家族3人 |
| 敷地面積 | 123.67㎡ |
| 建築面積 | 63.67㎡ |
| 延べ床面積 | 94.50㎡ |
| 構造 | 落し込み板壁構法 |
| 屋根 | ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き |
| 外壁 | ガルバリウム鋼板角波タテ貼・杉赤本実目透かし貼り・マサ土掻き落し仕上げ |
| 外部建具 | 木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス)、アルミサッシ(ペアガラス) |
| 天井仕上 | 杉本実張り 厚12mm、青森ヒバPJ本実板張り 厚15mm、EP塗 |
| 壁 | 落し板現し、漆喰塗、土塗壁、青森ヒバPJ本実板張り |
| 床 | 栗本実板・青森ヒバPJ本実板・桧本実板 全て厚15mm |
| 内部建具 | 木製オリジナル建具 |
| キッチン | ステンレスヘアライン天板オリジナルキッチン |
| 洗面化粧台 | オリジナル洗面化粧台 |
| 浴室 | オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバPJ、床：サーモタイル) |
| 竣工 | 令和3年7月 |

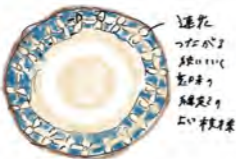
豊かなスペースと 実用的な動線

Mさんのお宅をより豊かにしているのは、緑豊かな中庭の存在。1階のどの空間からも見ることが出来る、毎日清々しい気持ちにさせてくれます。中庭は6帖程度のコンパクトなスペースですが、板塀で囲まれた空間に、アオダモやヒメシャラ、ヤマモミジなどの雑木を中心として植栽スペースを設けました。お庭の中にはご主人の実家から移設した石や植木などもあり、ご両親の思いも込めたお庭になりました。中庭の一部には大谷石を使ったテラスをつくり、子供のプールやちょっとした屋外リビングとして活用出来る工夫をしました。中庭の板塀や植栽があることで室内からの目隠しにもなり、在宅時はスクリーンを上げて開放的に過ごす事が出来ます。通路部分は私有地なので人通りはほとんどありませんが、周辺建物からの視線はなんとなく気になります。造園屋の親方も周辺の窓を気にして植栽を配置してくれ、開放感とプライバシーのある空間が出来ました。

1階はワンルームのパブリックなスペースですが、2階は寝室やサンルームのあるプライベートな空間をつくりました。サンルームをつくりたいけど1階は日当たりやスペースの関係でなかなか難しい…。コンパクトな敷地条件の場合はサンルームを2階に設ける事があります。この場合、洗濯機をどこに配置するか？がポイントです。Mさんは2階のサンルームに洗濯機と洗濯流しを設け、洗濯後そのまま干せる動線としました。2階に洗濯機を設けた事で、シーツの洗濯も楽々できます。また、取り込んだ洗濯物を隣の和室でたたみ、そのままクローゼットに収納できます。衣類などの洗濯物を2階に運ぶ手間はありませんが、一度運んでしまえばあとは流れる動線。リビンクなどに洗濯物が出てしまう事もなく、スッキリと家事を行う事が出来ます。

今回のプロジェクトは、私たちにとっても大きなチャレンジとなりました。何よりMさん&skun(Kokolab village)の3棟目のお宅の協力があってこそこの計画だったので、とても感謝しています。今年の春には全ての工事が完了し、統一したコンセプトの元、とても豊かな景観をつくる事が出来たと思います。新しい暮らしはまだまだ始まったばかり。共にこの小さな分譲地を育てていきたいと思っています。

私の好きな 愛い道具たち VOL.8



うつわ暮らしの道具テクラ
店主 宮入由起

静岡市葵区で中仕事の品々を
みなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と
2人の娘の4人暮らし。夢は旅をしたから絵巻を巻く
旅日記を出版すること。仕事も暮らしも染みこぼれ



みなさん、こんにちは。テクラの宮入由起です。今回は夏の暮らしに是非
取り入れてほしい器、陶藝 玉城さんのうつわのご紹介です。玉城さん
ご夫婦は現在は沖縄の大宜味村で暮らしています。



沖縄の文化を大切にしながら、暮らしが楽しくなるような
うつわや暮らしの道具を作られています。

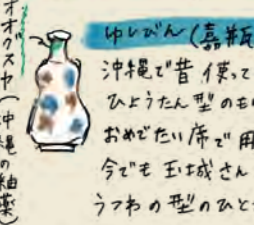
大宜味村 沖縄のうつわは「沖縄の言葉」で呼ばれています。テクラでは、数ある沖縄の作り手さんの
中から、玉城さんとお付き合いさせて頂いています。

私たちが、まず自分たち器を買い入れ、自宅で使ってみて後
又展示や工房へ伺ったりと時期はずいぶんかかっています。テクラ
私たちが暮らしに合うか、お人柄など、様々な
縁のタイミングを経て、ご紹介させて頂いています。

玉城さんご夫婦はあなたも「輪」を
ひき、糸付けをし、薪の窯でうつわを
作られています。沖縄には独自の

文化風情があり、本州には
みられない型、模様様など
あります。お二人は、沖縄の
文化、うつわを勉強され、今でも
昔の沖縄のような、穏やかな
器を作られています。

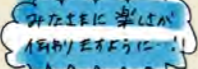
お二人のお人柄や
お仕事のお話等
とろ、喜ばれ
「ファミンク」な
お人柄に私も
とても惹かれています。



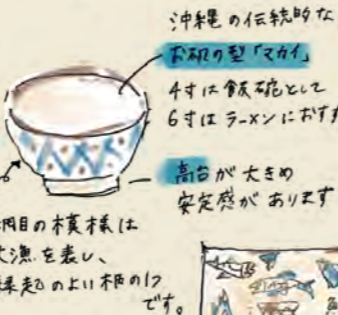
沖繩の釉薬
沖繩の「嘉祥丸」とは
沖繩で昔使われていた酒器、
ひょうたん型のもの。沖繩のお祭り等
おめでたい席で用いられた 通い瓶。今でも
玉城さんは大切な沖繩の
うつわの型のひとつとして作られています。

玉城さんをはじめ、中仕事の器のよいところは、何となくも
大きなところ。暑くなり、少し疲れた日、テクラが
した夕飯でも、炒めた野菜をどまにかき混ぜたお料理が
似合います。器を使えば、私には「ハンドル」が高いかな...と
思ってしまう。玉城さんの器はお試し頂きたい器のひとつです。
玉城さんの器は年2-3回の入荷となります。入荷のお知らせは
Instagramでお知らせします。

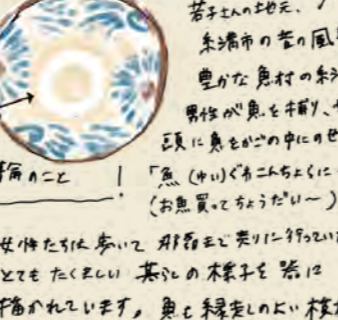
うつわが変わると人生が変わる程、楽しいです。



玉城望生 若手さん
とても大らかで優しいお二人です。



「扇紋」は太陽の光を
象徴する花の模様を
寿命を延ばす、縁起の
よい模様。



若手さんの地元、
糸満市の港の風景
豊かな鹿村の糸満には
男性が魚を干す、女性は
頭に魚をのせて干す。今
も「魚(中川)が干すよーにー」
(お魚買ってくださいー)

女性たちは歩いて 那覇まで売りに行くという
とてもたくましい 某の木葉子器は
描かれています。魚と縁起のよい模様

うつわ
暮らしの道具
テクラ

Instagram @tekura_miyairi
@tekura2013yk(私)
@miyairiyuki(イラスト)

静岡市葵区大岩1丁目1-25
054-246-2856
OPEN: 13時~17時
CLOSE: 火・水 その他有

生こうじと発酵調味料の専門店 萩原こうじや



萩原こうじやは明治23年創業の130年以上続く「こうじや」
です。3世代が昔からの手作業でつくる伝統あるこうじを
守り繋いでいます。2021年に
リニューアルし、生こうじはもちろん、お味噌や甘酒、調
味料やドリンクも販売していま
す。こうじ商品は健康をはじめ、美容・腸活にも効果があり、
幼児から年配の方まで安心して
親しんでいただけます。期
間限定商品もございますので、
HPやInstagramもチェッ
クしてみてください。

[住 所] 藤枝市岡部町内谷94-2
[TEL] 054-667-0107
[OPEN] 9:00~17:00
[定休日] 毎週日曜、第1・3・5月曜

[SNS] Instagram: @hagiwarakojiya
[URL] https://hagiwarakojiya.com



生活雑貨の店 楓 (TENOHIRA)



新緑の頃のまだ小さな青楓
の5枚葉と子供の小さなての
ひらをかけて名付けました。
小さなてのひらですくえるく
らいのささやかな幸せをお持
ち帰りいただける店が理想で
す。手仕事のぬくもりを感じる
器や布小物思わずずっと
笑みがこぼれるような日々の
暮らしに寄り添う友のような
雑貨をはじめ何気ない毎日を
彩り四季を感じる暮らしのご
提案を心掛けております。雑
誌をめくるようにゆっくりと
お買い物の時間をお楽しみく
ださい。

[住 所] 島田市中溝町2235-9
[TEL] 0547-35-6060
[OPEN] 火曜~木曜10:00~18:00
金曜・土曜10:00~19:00
[定休日] 日・月曜

[SNS] Instagram: @tenohira.zakka



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」 Facebook ページ



Instagram @kokolab.jp



発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

6月に入り、いよいよ梅雨の季節となりました。建築
屋にとって、雨や風はとても気になる所で、天気予報
とにらめっこの毎日が続きます。『TUBOMIの家』の
撮影はギリギリ梅雨入り前に行う事が出来、光を感じ
る写真を撮る事が出来ました。住まいは光の入り方で
全く印象が違います。Mさんのお宅のように、障子を使
った光は柔らかく落ち着いた雰囲気になり、ココラ
ボの家づくりに欠かせない存在です。現代は色々な素
材があり選択支が増えましたが、耐久性や手入れの面
でも良い素材は意外と少なく、やはり自然素材を中心
とした選択が間違いないと思っております。自宅や
『こころばの家』ではアジサイの花が綺麗な姿を見せ
てくれます。雨の多い時期ではありますが、夏ま
での短い季節を楽しみたいと思います。(山崎健治)



🏠 島田市『テンプの家』完成見学会を行います。

4月上旬に建前を行ったAさんのお宅。ゆとりのある敷地に伸びやかな平屋風のお宅を計画しました。どの部屋にも明るさと風通しのある間取りを考え、中庭をL型に囲んだプランとなりました。ココラボ定番の大きな木の窓やサーモタイルと青森ヒバの浴室、薪ストーブや造作ソファなど、見所の詰まったお宅となりました。

◆ 日時：2023年8月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：島田市

🏠 掛川市『絞りの家』完成見学会を行います。

大きな屋根を葺き下ろした外観が特徴のNさんのお宅。スムーズな家事動線や使いやすい収納場所などの生活しやすいプランと合わせ、土間のアトリエやソファコーナーなど、遊び心を感じる提案も特徴です。勾配天井を活かした吹き抜けやハイサイド窓など、明るく開放的で、暮らしが楽しくなるお宅になりそうです。

◆ 日時：2023年8月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：掛川市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？ きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？ と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームページ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時：8月5・6日(土・日)

9月2・3日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡県駿河区新川2丁目5-29 電話：054-270-7658

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 電話：0547-54-4556

